

ジオパークの地名紹介絵本

「かわのよびなを旅する」 発刊！



洞爺湖有珠山ジオパークでは、この地域の大地の成り立ちと、人が暮らしてきた歴史をわかりやすく伝えていくために、平成 30 年度からジオパーク内の「地名」と「大地の特徴」がどう関係しているのかについて調査してきました。

その結果、大地の特徴を捉えたアイヌ語を元にした地名や、明治時代の開拓期につけられた地名など、さまざまな歴史や文化の重なりが見られること、そして時間がたつにつれ人の暮らし方が変わっていくように、地名もまた変化してきたことがわかりました。

『かわのよびなを旅する』
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会編
2020 年 12 月発行 非売品
(公益財団法人アイヌ民族文化財団の
助成を受けて作成)

今回その中から、アイヌ語が元になっていると考えられる川の名前を取りあげ、風景とともに紹介する絵本『かわのよびなを旅する』を作成しました。

絵本は 2020 年 12 月中旬に、ジオパーク推進協議会に参画する団体、圏域内の学校・図書館（室）の他、病院や薬局、金融機関、理美容室などの待合スペースがある施設等、約 300 カ所に配布しています。

詳細は、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会にお問い合わせ下さい。



ちょっと紹介！

絵本にでてくる川（湧水・湖）

礼文華川 / 小銚岸川 / 貫気別川 / ポンベツ川
新山梨川 / 赤川 / トコタン川 / 有珠の湧き水
長流川 / 洞爺湖 / 壮瞥川 / ソウベツ川
パンケ川 / 弁慶川 / 白水川 / 徳舜瞥川
三階滝川 / 志門気川 / 紋別川 / シャミチセ川
谷藤川 / 気仙川